10年ぶりに改訂

『改訂版 公共測量積算ハンドブック』付属資料「積算ハンドブックExcel版（CD-ROM）」

測技協では、平成22年11月に「公共測量積算ハンドブック」改訂版を刊行しました。

旧版のハンドブックは、当時の建設省公共測量作業規程に基づいて積算資料を編纂したもので、各方面から沢山の引き合いをいただいて参りました。しかしながら、発刊から10年を経て、測量技術は目覚ましい進歩を遂げ、それに呼応するように平成20年3月に公共測量に適用する「作業規程の準則」が全面改正されました。

「作業規程の準則」には、デジタル技術を活用した測量機器による新しい測量業務が取り込まれた他、製品仕様書に従った品質評価やメタデータ作成など新しい作業工程も設定され、今後はこの「作業規程の準則」が国土交通省公共測量作業規程に代わって、測量業務のいわばバイブルの役割を果たすことになりました。多くの皆様から「作業規程の準則」に基づいた積算ハンドブック改訂の要望、お問合せをいただくようになり、当協会の創立30周年記念事業の1つとして、測技協技術委員会・技術部会ならびに事業委員会の協力のもとに改訂作業を進め、発刊の運びとなりました。

●改訂の目的

1.「作業規程の準則」の改正に対応

①地理情報標準（JPGIS）に準拠した製品仕様書の策定、②デジタル測量への全面転換、③新技術・新工種の採用（航空レーザ測量、基盤地図情報作成、その他の応用測量）、④新作業工程の設定（品質評価、メタデータ作成）等を反映したハンドブックにしました。

2. 測量業務全体をカバーする積算資料として

国土交通省大臣官房技術調査課から「設計業務等標準積算基準書」及び「同参考資料」によって、①基準点測量、②水準測量、③現地測量、④空中写真測量、⑤既成図数値化、⑥路線測量、⑦河川測量、⑧深浅測量、⑨用地測量の9種類32工種の測量業務の標準歩掛りが公表されていますが、デジタル機器を用いた測量業務や新技術分野については、必ずしも十分ではありません。そこで本ハンドブックでは、準則に収録された測量業務を網羅することを目指し、14種類70工種の測量業務の標準歩掛り資料を作成しました。

3. 積算精度の向上の一助として

今日、低価格入札による成果品の品質低下を防ぐため、低価格入札者に対しては相当に負荷の掛かる調査・資料作成等が実施されております。測量実施機関は意図しない不用意な低価格入札を回避するために、これまで以上に精度の高い積算をする必要があり、その参考資料となることを期待しています。

本書は、公共測量の実務に役立つ積算資料提供を使命としており、測量に携わる多くの皆様にご活用いただき、測量計画及び作業の効率化、高精度化さらには測量事業の発展にわずかなりとも貢献できればと考えております。

「改訂版　公共測量積算ハンドブック」A4版　214ページ
付属資料「積算ハンドブックExcel版」CD-ROM（操作説明書付）
平成22年11月発行
発行者　財団法人日本測量調査技術協会編
著　者　財団法人日本測量調査技術協会　標準歩掛り研究会
一般価格（税込）：20,000円　測技協会員価格（税込）15,000円
発送料：測技協負担
先端測量技術の図書申込用紙、もしくは測技協HPからお申し込みください。
http://www.sokugikyo.or.jp/

●付属資料『積算ハンドブックExcel版』（CD-ROM）

・作業規程の準則に掲載されている測量作業のほか70工種について、標準的な歩掛り（材料・機械使用量等含む）をまとめたものです。
・簡単な操作で積算資料を作成することができます。
・国土交通省大臣官房技術調査課から公表されている『設計業務等標準積算基準書』の中の測量業務32工種の標準歩掛りデータがすべて取り込まれています。
・作業規程の準則に公共測量として明記された「その他の応用測量」の中の重要な主題図（洪水ハザードマップ、浸水想定区域図）や独自設定工種（簡易写真地図、地震防災マップ）の積算資料も収録されています。